



りそな銀行アジアニュース

平成 21 年 1 月 23 日
りそな銀行 法人ソリューション営業部 国際業務室

【バンコック駐在員事務所/ベトナム】

「2008年のベトナム経済動向」

【2008年のベトナム経済動向】

- (1) 2008年通年のベトナムの国内総生産(GDP)成長率は6.23%にとどまり、1999年以来9年ぶりの低水準となりました。農業分野が3.79%増、工業・建設分野が6.33%増、サービス分野が7.20%増でした。政府は2009年のGDP伸び率の目標を6.5%としています。
- (2) 2008年の消費者物価指数(CPI)は2007年比の平均上昇率が22.97%となり、過去15年で最高の上昇率となりました。
- (3) 輸出額は前年比29.5%増の629億1,000万米ドルに達しました。主要輸出品目は原油(約105億米ドル、前年比23.1%増)、縫製品(約91億米ドル、同17.5%増)、履物(約47億米ドル、同17.6%増)、水産物(約46億米ドル、同21.2%増)、コメ(約29億米ドル、同94.8%)、木製品(約28億米ドル、同15.6%増)、電子機器・コンピューター(約27億米ドル、同25.5%増)等です。一方輸入額は同28.3%増の804億2,000万米ドルとなり、貿易赤字は約175億米ドルとなりました。商工省は2009年の輸出・輸入の増加目標をそれぞれ13%としています。
- (4) 外国直接投資(FDI)は、新規投資と追加投資合計で前年比3倍の640億1,100万米ドルでした(認可ベース)。マレーシアのライオングループ(98億米ドル)や台湾のフォルモサ重工(80億米ドル)の両大型製鉄所案件等が寄与しました。進出形態別に見ますと独資企業が882件/311億6,000万米ドル、合弁企業は213件/270億米ドルとなりました。新規投資案件は1,171件/602億1,700万米ドル。内訳は工業・建設分野が572件、サービス分野が554件となっています。国・地域別の投資額ではマレーシアが首位、二位は台湾、日本とシンガポールがこれに続きました。なお計画投資省によると、2009年のFDI額は200億米ドルとされています。

【金利・為替状況】

- (1) ベトナム国家銀行(中央銀行)は世界同時不況の波及があった10月以降、相次いでベトナムドンの政策金利等を引き下げました。2009年1月現在、政策金利を年8.5%、対商業銀行貸出の際の指標となる再割引金利(リファイナンスレート)を年9.5%、中央銀行が商業銀行から有価証券を買い戻す際に適用される公定歩合(ディスカウントレート)を年7.5%としています。
- (2) 2008年12月31日現在、ベトナムドンの対米ドル公式為替相場は、1米ドル16,977ドンとなっています。

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
実質GDP成長率(%)	7.2	7.6	8.4	8.2	8.5	6.23
消費者物価指数(CPI)上昇率(%)	3	9.5	8.4	6.6	12.6	22.97
為替レート(対米ドルレートの期末値)	15,646	15,777	15,916	16,054	16,145	16,977
輸出額(米ドル)	201億4,930万	264億8,500万	324億4,190万	398億2,621万	483億8,000万	629億1,000万
輸入額(米ドル)	252億5,580万	319億6,880万	369億7,800万	448億9,112万	608億3,000万	804億2,000万
直接投資(認可ベース)						
新規(件数)	752	723	922	914	1,400	1,171
新規(金額)(米ドル)	19億1,430万	22億2,210万	42億6,840万	88億2,720万	176億	602億1,700万

【出所:ベトナム統計総局、在ベトナム日本国大使館 HP 他より】

照会先:法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-5223-6672
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 *禁無断転載